

IV 財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)をもって貸借対照表価額としている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	74,500,874		74,500,874	0
投資有価証券	251,732,764	170,566,000	100,481,415	321,817,349
小 計	326,233,638	170,566,000	174,982,289	321,817,349
特定資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	326,233,638	170,566,000	174,982,289	321,817,349

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する額)
基本財産				
投資有価証券	321,817,349	(321,260,193)	(557,156)	(-)
小 計	321,817,349	(321,260,193)	(557,156)	(-)
特定資産				
小 計	0	(0)	(0)	(-)
合 計	321,817,349	(321,260,193)	(557,156)	(-)

6. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
みずほフィナンシャルグループ劣後3回	101,260,193	100,910,000	△ 350,193
みずほフィナンシャルグループ劣後12回	100,557,156	99,840,000	△ 717,156
第29回三菱UFJFG期限前劣後免除特約付	70,000,000	69,717,900	△ 282,100
第137回名古屋高速道路債券	50,000,000	49,927,500	△ 72,500
合 計	321,817,349	320,395,400	△ 1,421,949

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄付金	49,000,000
目的達成による指定解除	4,500,874
合 計	53,500,874

8. その他

金融商品の状況に関する注記

1. 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

2. 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

3. 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③ 市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。